

利賀っ子だより



R4. 3. 18

○ 利賀のゆるキャラ誕生！

1・2年生が生活科の「利賀地域をたんけんしよう～すてきをみつけよう、すてきを伝えよう」学習で自分の住んでいる地区の「すてき」をたくさん見付けました。こんな「すてき」がたくさんある利賀に興味をもってほしいと願い「ゆるキャラ」キーホルダーを作りました。ゆるキャラの色や形は、「川の水の色」「かもしかの角の形」などそれぞれの地区の特徴を表すように考えて決めたそうです。

2月の参観日には、保護者の方々に「すてき」を紹介し、キーホルダーを配布しました。先日は、全校の前でキーホルダーについて説明し、配布しました。

ゆるキャラを作る活動を通して利賀にこれまで以上に愛着をもち、そこに住む自分たちに誇らしい思いを抱いた1・2年生でした。また、それをみんなに知らせることで、表現する力が高まったり、達成感を味わったりすることができたようです。



【利賀の「すてき」を紹介します】

○ 1年間ありがとう



【1年間ありがとう】

朝の会で山村留学生から利賀の子供たちにメッセージのプレゼントがありました。いつの間に準備したのか分かりませんが、元の学校に戻る子供も来年度も利賀での留学を続ける子供も1年の区切りとして、利賀の子供たちにお礼を言いたいと考えて一人一人が書いたと話していました。

思いがけないプレゼントに「お礼を言いたいのは、ぼくたちの方だよ。」「いっぱいできることがあったし。」「楽しさ倍増。」などつぶやきがありました。今年度始まった「南砺利賀みらい留学」の成果を子供たちの声として聴くこと

ができたと思いました。

留学制度は、競争相手ができたり、今までできなかった多人数での活動ができたりという活動面でのよさはもちろんですが、初めて利賀で過ごす留学生を気遣ったり、留学生が家族と離れて生活していることを目の当たりにし、当たり前だと思っていたことに立ち止まり、感謝の気持ちをもったりなど、利賀の子供たちの心を育てるという面でもありがたい制度だと感じました。

センターの指導員の方々、受け入れ家庭の方々、地域の方々、利賀の保護者の方々、教育委員会の方々の多大なお力添えに感謝するばかりです。 (高田 公美)